

出前授業

～体験を通して昔の人々の想いに触れよう～

2月9日(火)に3年生対象に栃木県立博物館による出前授業を実施しました。

最初に講師の辻先生から古い道具について、実物を見ながら役割や変遷を解説してもらいました。様々な道具（釜・黒電話・提灯・蛇の目傘・菅笠・洗濯板等）を見学した後、全員が「火起こし体験」と「石臼を挽く体験」をしました。「火起こし体験」では、火が付きませんでした。煙が出てきて歓声があがりました。「石臼を挽く体験」では、粉ができる仕組みを聞いた後、大豆を挽いてきなこを作成しました。実際にきな粉ができたのを見てとても驚いていました。説明と体験を通して、時代ごとに生きていた人々の思いがより便利な道具を発明しようとする原動力になっていたことを感じる事ができました。興味深い展示が多いので、感染症が収束した際には、ご家族で栃木県立博物館を訪れてみてください。



洗濯板の説明



火起こし体験



石臼を挽く体験



薬研体験